

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、国の示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の視点を踏まえた調査で、要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題の特定、総合事業の管理・運営に活用することを目的として実施しています。

2 調査対象及び方法

調査対象	区内在住の 65 歳以上の方で、要介護認定を受けていない方
配布数	3,000 件
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	令和 6 年 11 月～12 月

3 回収状況

配布数	回収数	有効回答数
3,000 件	1,880 人 (回収率 62.7%)	1,880 人 (回収率 62.7%)

4 報告書をみる際の注意

- ・図表中の「n」とは、集計対象者総数（または分類別の該当対象者数）を示しています。
- ・調査結果の比率はすべて n を基数として百分率（%）で算出し、小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記しているため、割合の合計が 100.0%にならない場合があります。また、複数回答については、割合の合計 100.0%を超える場合があります。
- ・本文や図表中において、選択肢の文言が長い場合は、選択肢中の文言を一部省略した表現を用いています。
- ・グラフに関して、単数回答は帯グラフ、複数回答は棒グラフとなっています。また、経年比較はすべて棒グラフとしています。棒グラフは、「その他」「わからない」「特にない」などの具体的な内容を含まない選択肢及び「無回答」を除き、割合による降順となっています。また、帯グラフ中の「0.0%」については表記を省略しています。
- ・表に関して、表側となる設問項目に関してはそれぞれ「無回答」を除いて選択肢を表記しているため、合計が全体と一致しない場合があります。また、網掛け部分は、全体および分類別の該当対象者のなかで、それぞれ比率が最も高い項目であることを表しています。
- ・表に関して、「介護認定を受けていない一般高齢者」を“一般高齢者”、“要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者”を“総合事業対象者”と表記しています。
- ・集計結果において、特に属性別でみる場合、回答者を限定する設問などによっては該当者が少なくなり、割合が偏る、あるいは分散することがあります。
- ・コメントに関して、全体の割合が上位の回答と属性別の集計結果について言及しています。

- ・居住地域の設間に対して、高齢者総合相談センター圏域（8 区分）、日常生活圏域（8 区分）の区分けは以下のとおりです。

高齢者総合相談 センター圏域	日常生活圏域	該当住所
菊かおる園	東部第 1	巣鴨 3 ～ 5 丁目 西巣鴨 1 ～ 4 丁目 北大塚 1 ・ 2 丁目
東部	東部第 2	駒込 1 ～ 7 丁目 巣鴨 1 ・ 2 丁目 南大塚 1 ～ 3 丁目
中央	北部第 1	北大塚 3 丁目 上池袋 1 ～ 4 丁目 東池袋 1 ～ 5 丁目
いけよんの郷	北部第 2	池袋 1 ・ 2 ・ 4 丁目 池袋本町 1 ～ 4 丁目
ふくろうの杜	南部第 1	南池袋 1 ～ 4 丁目 雑司が谷 1 ～ 3 丁目 高田 1 ～ 3 丁目 目白 1 ・ 2 丁目
豊島区医師会	南部第 2	西池袋 1 ～ 5 丁目 池袋 3 丁目 目白 3 ～ 5 丁目
アトリエ村	西部第 1	南長崎 1 ～ 6 丁目 長崎 2 ～ 6 丁目
西部	西部第 2	長崎 1 丁目 千早 1 ～ 4 丁目 要町 1 ～ 3 丁目 高松 1 ～ 3 丁目 千川 1 ・ 2 丁目